2026年11月２日

各　位

会　社　名　　株式会社ティラド
代表者名　代表取締役　CEO 兼 COO
社長執行役員　宮﨑　富夫
（コード番号　7236　東証プライム）
問合せ先　常務執行役員 経理財務管掌　木下　薫
（ＴＥＬ　　03-3373-1101）

通期業績予想（連結）の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年８月３日に公表した通期業績予想（連結）につきまして、本日開催の取締役会において、下記の通り修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

１．通期業績予想の修正について

（2026 年４月１日から 2027 年３月 31 日）

連結　　（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	165,000	12,300	13,400	9,500	167.79
今回修正予想（B）	168,000	11,900	12,800	8,600	151.80
増減額（B－A）	3,000	△400	△600	△900	－
増減率（％）	1.8	△3.2	△4.4	△9.4	－
(ご参考)前期実績（2026 年３月期）	162,278	11,249	12,378	8,765	147.75

(注)当社は、2026年７月１日付で普通株式１株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「１株当たり当期純利益」を算定しております。

２．通期業績予想の修正の理由

最新の取引先販売計画を確認した結果、日本・欧州において増収の見込みとなり、連結売上高につきまして、前回公表予想から上方修正いたします。

利益面につきましては、日本セグメントにおいて、増収による増益効果はあるものの、材料費高騰、研究開発費等の増加により、各利益項目は前回公表予想を下回る見込みです。また、米国セグメントにつきましても、関税負担見込み、原価低減予想の下振れ等により、各利益項目は前回公表予想を下回る見込みとなりました。加えて、その他特別損益項目として、2024年度から取り組んでいる生産管理システムの刷新プロジェクトの進捗が良好であることから、旧システムの除却損を今年度に見込むことと致しました。その結果、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益について、いずれも前回公表予想から減額修正いたします。

尚、今回の業績予想の修正に関わらず、当社の中期的な収益見通しを踏まえた累進配当施策に則り、27年3月期の配当予想に変更はありません。

今後の業績予想につきましては、地政学的リスクの更なる顕在化や為替変動等、依然として不確実な要因が存在しております。引き続き、これらの影響を注視するとともに、最新の状況を踏まえ、業績予想に変更が生じた場合には、適時適切に開示してまいります。

(注)上記予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上